

I 加東の教育

「人間力の育成」

～豊かな学びが、新しい自分と地域を育むまち 加東～

1 基本方針

- (1) 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進
～学びの連続性を大切にした教育の充実～
- (2) 子どもの学びを支える教育環境の整備
- (3) 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進

2 児童生徒に身に付けさせたい力／グローバルスキル

- (1) 21世紀型スキル
自律的学習力、課題発見解決能力、ITスキル、理論的思考力等
- (2) 汎用的スキル
知識や技能を現実的社会で使いこなせる力等
- (3) 非認知スキル
やり抜く力、探求力、自己肯定感、協調性、多様性理解等

①人を大切にする力	かけがえのない自分 多様な子との共存
②自分の考えをもつ力	子どもの主体性の育成
③自分を表現する力	その子らしく 自分の言葉で語る
④挑戦する力	「失敗する力」
「失敗しないことよりも、失敗しても、また立ち上がれることを」	
「普通はない」「比較で物事をとらえない考え方が必要」	

3 子どもが主語の学校園に

- (1) グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
・新しいものを創り出す創造力、他者との協働による問題解決能力
- (2) 主体的・対話的で深い学び、アクティブラーニング
・正解（知識の暗記）、正解主義からの脱却、学びの動機付け、幅広い資質能力、学習者主体
- (3) 持続可能な社会の作り手の育成に貢献するESD(持続可能な開発のための教育)の推進
・地球規模課題を自ら関わる問題として主体的にとらえ、解決にむけ考え行動する
- (4) 多様な才能・能力を生かす教育(「そろえる」教育から「伸ばす」教育へ)
・全員に同じ教育→個々が持つ能力を最大限に活かす教育

4 「教育のまち 加東」の推進

【ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもの育成】

(1) 話せる15歳（臆せず外国語を話す）

臆せず積極的に英語を用いてコミュニケーションを図る

(2) 語れる15歳（加東のよさを 自分の歩むべき道を語れる）

伝統や文化を尊重し郷土への愛着を深め、よりよい社会づくりに向け主体的に行動する

II 本校の教育

1 学校教育目標

共に学び、夢に挑む自立した子どもの育成

2 学校教育目標の具体像

(1) めざす学校像：学び合い、笑顔あふれる学校

○子どもたちが楽しく学べる安心・安全な学校

・知・徳・体のバランスがとれ、自らの夢や志の実現に努力できる意志を育てる。

・自立した生きる力を培い、友達と共に育つ喜びを感じる学校

○教職員が生き生きと教育活動ができる学校

・自己研鑽に励み、生き生きと活動できる教職員のいる学校

・互いに相談し合い、学校全体で取り組む教職員のいる学校

○保護者・地域から信頼される学校

・地域に根ざした教育活動を展開し、ふるさとを愛する心を育てる学校

・保護者・地域と連携する学校

・地域に信頼される学校

(2) めざす子ども像：「生きる力」を身につけ、自立する子ども

○よく考える子 ○たくましい子 ○しなやかな子

～自己選択・自己決定を通して～

【学習面】

○自ら進んで課題に取り組める子

○自分の考えを持ち、表現できる子

○他者の考えを受け入れ、学び合える子

○自分の学びに気付ける子

【生活面】

- 自他の良さを知り、自身をよりよくできる子
- 決めたことを最後までやり抜ける子
- 自分の生活を客観的に見つめられる子
- 集団生活のきまりを守り自律的に生活できる子

【特活面】

- 学校生活をよりよくしようと考えられる子
- 学校生活をよりよくするために進んで行動できる子
- 集団の中で、他者や自己を受容できる子
- 仲間と共に体を動かすことを楽しむ子

(3) めざす教職員像：人間力に富み、子どもの成長を保障する教職員像

～1+1が2以上となるための組織力（個々の力量アップとお互いの忖度）

○教育の専門家としての自覚と使命感をもち、常に自己を高めようとする教職員

- ・個々の児童の実態に基づく教育観を持つ教職員
一人一人の子どもがあつての児童観、教材観であり指導観。
- ・児童の実態と教科・教材の特性を融合させ、その学級独自の指導ができる。

○明るく元気で、子どもや保護者の思いに寄り添うことができる教職員

- ・明朗快活で魅力あふれる教職員。
- ・児童や保護者の立場になって考えられる教職員。

○高い倫理観と人権意識を持ち、他者を敬い接することができる教職員

- ・正しい人権感覚と公平公正な態度で人と接することのできる教職員。
- ・厳しさの中にも思いやりのあふれる言動ができる教職員。

3 学校経営の重点取組項目

●児童の「将来の自立」にむけた取組の推進（中長期的視点）

- ・楽しい（よくわかり、考える）授業づくり
- ・思いやりや優しい心の醸成と健康な体づくり
- ・自発的・主体的な活動の推進

●義務教育9年間を見通した系統性と連続性のある学習・生活指導

- ・小中学校統一の学習規律の策定や相互の授業参観を進め、学校間の学びのつながりを促進
- ・学習等の習慣化（家庭学習と読書活動の推進）
- ・縦割り班活動での人間関係づくりの推進

●地域に根ざし開かれた特色ある学校づくり

- ・ホームページや学校だより、学級だよりを通じた地域への情報発信
- ・地域人材や地域資産を活用した学習の充実
- ・学校オープンでの保護者や地域住民を巻き込んだ学習の推進

●業務改善のさらなる推進による勤務時間の適正化

- ・教職員の定時退勤日の完全実施にむけた取組の推進
- ・校務・業務のIT化とPDCAに基づいたスクラップ&ビルドによる業務改善の推進
- ・記録簿の記載時間の設定による勤務時間の把握と割振変更の適正な実施

4 方策と具体的な取組

別紙「グランドデザイン」を参照

5 教育課程編成の基本方針

- ・法令及び新学習指導要領、加東市教育大綱、第3期加東市教育振興基本計画の示すところに従う。
- ・児童の実態と発達の特性や保護者、地域の願いを踏まえる。
- ・校区の特性を生かしつつ、本校ならではの特色ある教育活動を位置づける。